

## 第2次総合計画施策評価シート《令和5年度分》

## 第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-1)	生涯学習講座・教室開催事業	生涯学習課	生涯学習グループ	令和6年5月8日

### ■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策	
	施策目標	2	生涯学習の充実		
	主要施策	2	生涯学習講座・教室の充実		
	主要事業		生涯学習講座・教室開催事業		
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する				
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する				
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する				
	  				

### ■事業内容【PLAN】

事業目的	市民の生涯学習ニーズにこたえるため、子どもから高齢者までを対象としたさまざまな教室・講座を開催し、学習機会を提供します。	主な協働・関連団体等	
事業概要	自らの地域の歴史・文化を学ぶことができる生涯学習講座を企画し、開催します。	関連する個別計画・根拠法令等	
事業の開始・終了	開始年度 令和2 年度	終了年度 令和10 年度	

### ■事業費(単位:千円)【DO】

## 第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-2)	生涯学習関連施設の整備充実・有効活用	図書館	図書グループ	令和6年5月23日

### ■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	2	生涯学習の充実	
	主要施策	2	生涯学習講座・教室の充実	
	主要事業		生涯学習関連施設の整備充実・有効活用	
SDGs 連携分野	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
				

### ■事業内容【PLAN】

事業目的	インターネットが普及する中、図書の購入により、読書会やおはなしの会を通じ、本に触れ合う環境づくりを目的とします。	主な協働・ 関連団体等	
事業概要	生涯学習ニーズにあわせた蔵書の充実や親子の触れ合い・仲間づくりの機会を増やす「おはなしの会」や「読書会」を開催します。		
事業の開始・ 終了	開始年度 平成18 年度	関連する 個別計画・ 根拠法令等	
	終了年度 令和10 年度		

■事業費(単位:千円)【DO】												
事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)					
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)				
	図書購入費	4,428	図書購入費	4,400	図書購入費	4,400	図書購入費	4,400				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)					
	逐次刊行物購入費	1,019	逐次刊行物購入費	975	逐次刊行物購入費	975	逐次刊行物購入費	975				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)					
	資料情報借上料	558	資料情報借上料	585	資料情報借上料	585	資料情報借上料	585				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)					
	視聴覚資料購入費	597	視聴覚資料購入費	600	視聴覚資料購入費	600	視聴覚資料購入費	600				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)					
<b>合計</b>		<b>合計</b>	<b>6,560</b>	<b>合計</b>	<b>6,560</b>	<b>合計</b>	<b>6,560</b>					
(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額) 0				
成果指標			現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)				
			(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
(2) 図書館利用者数			人	37,869	30,693	20,951	30,939	31,087				
								31,042				
								43,000				
								43,000				
指標の分析	コロナ禍が終息に向かい利用者数が回復してきましたが、目標値には届いていないため、図書館の魅力化を図り利用者を増やす必要があります。											
■事業の評価【CHECK】												
項目	評価視点				評価の結果							
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のために効果的なものであり、求められているか</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要であるか</li> </ul>				年間を通して多くの利用があることから市民ニーズの高い施設であり、本や絵本とのふれあう機会づくりを行うことは生涯学習の充実という観点からも必要性の高い事業です。							
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年に比べてどのように工夫したのか</li> <li>コストの削減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性</li> </ul>				限られた予算内で、市民ニーズや社会情勢などを考慮して購入資料を選び、有効活用できるよう努めました。また、月1回の読書会を継続して行ったほか、ボランティアによる乳幼児や小学校低学年対象の読み聞かせを復活させました。							
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市・住民・団体で誰が実施するのが良いか</li> </ul>				読み聞かせや読書会のボランティア団体の協力を得ることで、本や絵本とふれあう機会を提供することができるため、市が主体となり団体と協働して実施する必要があります。							
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果</li> </ul>				図書館における本事業は、生涯学習の充実を図るために必要な事業であり、市民に対し本とふれあう機会を提供することにより心豊かで文化をはぐくむ人づくりにつながります。							
■今後の進め方【ACTION】												
課長意見							方向性					
読み聞かせなどの事業を継続するとともに、館内の配架や掲示について見直すなど利用者目線の図書館運営を目指します。							現状維持					